

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —

SKYSEA Client View

スカイシー クライアント ビュー

Ver.8

[技術資料]

— データ容量算出 —

資料をご利用の際には Webサイトをご確認いただき、最新の技術資料をお使いください

資料の目的

(2013/07/29 更新)

- ・ SKYSEA Client View の各機能において、サーバーにて必要になるディスク容量を算出するための資料です。

データ容量算出 — データサーバー —

■ディスク容量構成（データサーバー）

- A. 操作ログ** = 1MB × 端末台数（台）
※1日あたりのログを1MBで計算
- B. 画面録画** = 20MB × 録画時間（時間 / 日） × 端末台数（台）
※1時間あたりの画面録画ログを20MBで計算
- C. サーバ監査** = 2MB × アクセスユーザー数

$$\text{合計} = (A + B + C) \times \text{保存日数} \times 2.6 \text{ (基準値)}$$

■補足事項

- ・1日あたりのログ容量は、操作内容により変動します。
- ・操作ログの想定値1MBは、事務作業などの一般的な業務で、1日8時間稼働した場合の想定容量となります。
- ・クリップボードログ、送信メールログは考慮しておりませんので、それらをご利用になる場合は、想定ログ容量を変更した上で計算をお願いいたします。
- ・画面録画の想定値20MBは、参考値になります。録画対象画面での画面変動の大小により、容量は変動いたします。
- ・基準値の内訳は、ログ想定容量の余力値として1.3倍、障害時などのデータ退避領域として2倍を見込んでいます。

データ容量算出 — マスターサーバー・ログ解析サーバー —

[技術資料]

■ディスク容量構成（マスターサーバー）

必要容量 = 80GB 以上

※内訳参考値

資産情報 = (資産情報:30KB + EXE 一覧:270KB) × 端末台数(台) × 2.6(基準値)

■補足事項

- ・資産情報の他にソフトウェア配布、Windows 更新設定のプログラム、ワンタッチレポート解析データも保存されます。
- ・資産情報の想定値は弊社想定容量です。
- ・端末にインストールされるアプリケーションなど、構成により変動します。
- ・基準値の内訳は、資産情報想定容量の余力値として1.3倍、障害時などのデータ退避領域として2倍を見込んでおります。

■ディスク容量構成（ログ解析／レポート用サーバー）

必要容量 = 2MB × 【保存月数 + 1】(月) × 端末台数(台)

※計算した必要容量が40GBに満たない場合は、40GB以上を見込んでください。

■補足事項

- ・各レポートのデータ最長保存月数は、ログ解析13ヵ月・レポート37ヵ月となります。
- ・必要容量の算出に使用する保存月数は、いずれかの長い期間を利用してください。

データ容量算出

— 資産データ Web 閲覧機能サーバー、
ログデータ Web 閲覧機能サーバー —



[技術資料]

■ディスク容量構成(資産データWeb閲覧機能サーバー)

必要容量 = 10GB以上
※管理端末台数による変動はありません。

■ディスク容量構成(ログデータWeb閲覧機能サーバー)

必要容量 = 40GB以上
※管理端末台数による変動はありません。

資産データWeb閲覧機能とログデータWeb閲覧機能は、それぞれ単体でのご利用、または、両方を併せてご利用いただくことができます。

資産データWeb閲覧機能とログデータWeb閲覧機能を併せてご利用の場合、ディスク容量は40GB以上必要となります。

■ディスク容量構成（モバイル情報収集サーバー）

必要容量 = 20GB 以上

※管理端末台数による変動はありません。

■補足事項

- ・ 1 モバイル端末 1 日あたりに収集するデータは 100KB を想定。
収集したデータはモバイル情報中継サーバーを介し、マスターサーバーやデータサーバーに格納します。

■ディスク容量構成（モバイル情報中継サーバー）

必要容量 = 40GB 以上 管理端末が 1000 台以下の場合 20GB 以上